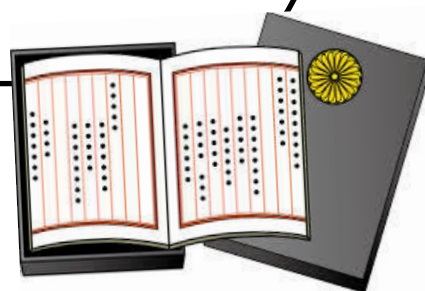


2016年度 法学部・法学会共催 秋季講演会

「若手弁護士が語る 憲法の希望とこの国の未来」

講師：白神 優理子 弁護士

秋学期の講演会は、東京の弁護士事務所に所属する白神優理子弁護士に、「若手弁護士が語る憲法の希望とこの国の未来」というテーマでお話いただきます。白神という名字は「しらが」と読みます（友人がいたので、私はすぐ読めました）。法学部から法科大学院を経て、2013年12月に弁護士登録ということですから、弁護士活動3年の若手弁護士です。『弁護士白神優理子が語る「日本国憲法は希望」』（平和文化、2016年）864円といったブックレットを出されています。驚くべきは、本文はじめに書いてある、2014年に講演を始めて、2年間で100回ほどの講師や講演を重ねたという紹介です。私のいままでの回数と変わらないんじゃないかと思えます。講演でベテランです。ただ、意外と講演のテーマ決定に悩まれたようです。何でも自由にお話いただいて結構だにご連絡して、先のようなテーマになっています。何が聞けるかは当日のお楽しみとさせていただきます。（紹介・榊原秀訓）



日時：12月12日（月）

13時30分～15時

会場：名古屋キャンパスB11教室

※法学部学生、法務研究科学生に限らず、学内の方、どなたでも聴講歓迎します。